



どうぶつ 動物はどうして4本足なの

さかな どうぶつ せんぞ 魚が動物の先祖

いま どうぶつ 動物は、どの動物もすべて 大昔の、初めて地球に 現れた生き物から進化して、生まれてきたものです。海の中で生まれた、バクテリアのような生き物が、何十億年もかかって少しずつ高度な生き物に進化し、魚が現れました。海でくらす、いちばん高度な生き物となった魚の一部が、陸に上がってくらすように進化し、今の陸上の背骨をもつ動物が生まれてきました。

さかな 魚のひれが、動物の足に変化

魚のおが動物のしっぽになり、胸にあったひれは前足、腹の部分にあったひれが後ろ足に変化していきました。人間のようにしっぽを使わない動物は、しっぽが退化してなくなりましたが、ほとんどの動物がしっぽをもち、前、後ろあわせて4本の足をもっています。

陸に上がった動物は、さらに、さまざまな種類の動物に分かれて進化していきましたが、形は少しずつ変わっても、4本足をもっていることは、変わっていません。

鳥は、前足がつばさに変化した動物です。へびも、退化して外側には見えませんが、前足、後ろ足の骨が、体の中に残っています。(監修・今泉 忠明)

